

12月定例会で以下の項目について町長および教育長から報告を受けました。

一般行政報告

1. 要望等について
2. 寄贈金品について
3. フテクンベツ川への建設汚泥流出について
4. 作況状況について
5. 中標津空港利用促進について
(北海道エアシステム就航)
6. 小樽商科大学との包括連携協定の締結について
7. 学校法人岩谷学園について
8. 令和5年度建設工事の発注状況について



詳しい内容はこちらのホームページに掲載しています。

<https://www.nakashibetsu.jp/gikai/gyouseihoukoku/>

教育行政報告

1. 芸術文化振興事業について
2. 各種大会等の出場結果について

委員会 代表質問

委員会代表質問の全文をこちらのホームページに掲載しています。



<https://www.nakashibetsu.jp/gikai/iinkaidaihyousitumon/>

厚生 常任委員会

ごみ収集存続危機に対する 新たな処理対策の実現を

質問



まつむら やすひろ 委員
松村 康弘 委員

1点目 収集方式をステーション方式に改めていかなければ、早晚パッカー車の後を走って、ごみ収集にあたる職員を確保できなくなる危機が迫つて来ていること。

これに対処するためと費用縮減のため、自立型コンポスト導入を取り組んでまいります。

1点目 生ごみの資源化も含めた可燃ごみの減量化は大きな道を求める」と。

2点目 収集方式をステーション方式に改めていかなければ、早晚パッカー車の後を走つて、ごみ収集にあたる職員を確保できなくなる危機が迫つて来ていること。

これに対処するためと費用縮減のため、自立型コンポスト導入を取り組んでまいります。

道内外の視察や委託業者との懇談を経て、現在の形でのごみ収集と処理が、今後継続できなくなるとの危機感をもとに議論を重ねました。

以上、3点を質問します。

町長答弁

3点目 広域連合における処理のあり方を見直していくこと。
中長期的な広域連合のごみ処理体制は、あらゆる方法を検討し、ごみの分別の徹底と減量化や資源化、そして焼却施設の運営にかかる負担金の削減を図り、効率的で安全安心な運営に取り組んでまいります。

入を組み合わせること。

3点目 広域連合における処理のあり方を見直していくこと。